厚田スポーツセンター廃止の検討について
寄せられた意見と検討結果

【パブリックコメント実施期間】　平成２８年５月１日（日）から平成２８年５月３１日（火）まで

【担当部局】　保健福祉部スポーツ健康課

【意見提出者】　５人

【意見件数】　９件

【意見への対応】

採　用	：	意見に基づき原案を修正するもの	２件
不採用	：	意見を反映しないもの	３件
記載済	：	既に原案に盛り込まれているもの	０件
参　考	：	原案に盛り込めないが今後参考とするもの	０件
その他	：	ご質問・ご意見として伺うもの	４件

【意見の検討経過】　平成２８年５月３０日～６月１日　当課及び関係部局において意見の検討及び検討結果（案）の作成
平成２８年６月１日　関係部局に合議のうえ、市長決裁にて最終決定

厚田スポーツセンター廃止の検討について寄せられた意見と検討結果

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
1	地域振興のために廃止するなら、廃止後のプールも含めたスポーツ振興施設についてはっきりとした説明がなされるべきだと思います。	採　　用	廃止後は厚田小中統合校（予定）にプールを新設します。今年度、統合校全体の機能等の基本コンセプトをまとめ、建設を目指すこととしております。
2	駐車場規模 140 台とあるが、それ以下の道の駅もたくさんあり、本当に第３駐車場が必要かどうかも疑問です。 道の駅の駐車場としては、当初の計画で十分だと思います。 スポーツセンターを壊してまで、140 台分の駐車場が必要なのか。	不 採 用	国（建設省北陸地方建設局）の「道の駅調査」データに基づき、現行の通過交通量から試算した道の駅の駐車場収容台数が 140 台です。また建設予定地の 10 キロメートル南側に位置する「戸田記念墓地公園」には、年間 40 万人以上の入込があり、周辺の交通量は、道の駅建設予定地である厚田公園周辺のおよそ２倍となっています。こうした入込客も呼び込み、物販促進や地域周遊につなげることを目指すことから、その受け入れ体制はしっかり整備する必要があります。
3	利用者が十分納得のいくように市民の声を聞いて進めてほしいです。	採　　用	今回の市民参加手続きの中でいただいた懸案事項について市としてしっかりとした対応策を整理した上で取り進めてまいります。
4	市民に親しまれる道の駅にしてほしい。	そ の 他	道の駅は、厚田区地域協議会から提出のあった「厚田複合施設基本構想」を基調として、厚田区・浜益区の自然や歴史・食などの地域資源を複合的に活用した「ゲートウェイ型」施設として、域外の需要を取り込み、交流人口の増加や地域産業の振興など、地域の活性化を図ることを目的に整備しようとするものです。地域の魅力を発信し、さまざまなサービスに地域の参

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
			画を促しながら、市民に親しまれる道の駅を目指します。
5	現在いる子どもたちを一番に考えて話を進めてほしい。	そ の 他	道の駅事業は過疎化が進む厚田・浜益にどう人を呼び込んで、民間が参入できる事業環境を整備するかという命題を持つ地域活性化の一大プロジェクトです。地域の子どもたちのためにも、将来にわたりこの地域を維持していけるように活性化していく必要があると考えています。
6	子どもたちや大人を含め利用者の権利を奪うものであり反対です。	不 採 用	アリーナの利用につきましては、厚田小・中学校の体育館を代替施設として、またプールにつきましても、新たなプールの建設までの代替として八幡小学校プールや市民プールを利用していただくことで、スポーツ環境を維持していくこととしております。
7	遠くまでプール学習に行くとなると、移動にかかる時間が長くなり、子どもたちの負担が大きくなります。	そ の 他	一部の学校を除き、移動距離が長くなりますが、複数学年での合同授業実施などにより、今までより多くの教員が授業に携わることで、子どもへの目が届きやすくなり、安全も含めた指導面での利点があります。 また、天候による制約がない市民プール（温水プール）の利用や、水泳学習の際に市民図書館など花川地区の施設を活用することで新たな学習機会の提供についても期待できるものと考えており、子どもたちにとって有意義な授業づくりに向けて工夫して参ります。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
８	体育館の利用者は、今後どうすればいいのか。	そ の 他	既存厚田小・中学校の体育館において、利用調整を図ってまいります。
９	学校の近隣に駐車場ができると、騒音などで授業の妨げになる。	不 採 用	駐車場規模を試算するピーク立寄台数は、土日やGWなど、休日の立寄りを想定したものであり、学校授業が行われる平日の立寄台数は、それに比べて大幅に少ないことから、授業に支障を来たすレベルではないと考えています。